

1. 地域経済と課題

- (1) 解体その後 (cf. Vol. 12)。①辻薬局の隣は駐車場、②X0, 0Z 跡にはマンションが着工済、③坊主町もりもと病院跡にもマンション建設の看板設置、④ヤマダ電機跡はケースデンキ、⑤ボーリング場の解体は時間がかかっている。⑥サンフレッシュの解体がほぼ完了、⑦コアスポーツ跡にはドラッグストア・モリが建設着手、⑧外町レディースクリニック跡は更地、⑨吉富外科胃腸科医院の跡は平屋の事務所 (モデルルーム)、⑩ルナモンド跡にマンション第2棟目が着工。企画や建設の半数以上が県外なのが目立ちます。
- (2) 9月30日に閉店したお店からの案内通知「原材料の高騰、円安、アフターコロナでのライフスタイルの変化等々、当店を取り巻く環境は厳しいものがあり、何かと歯を食いしばって耐えてきましたが、ついに刃折れ、矢尽きました。」とある。創業9年目でした。一般論を身近な事例で突き付けられた感じがしました。
- (3) 「令和の米騒動」と呼ばれている。スーパーの棚には入荷が不安定なため「一家庭一袋」の注意書きが (11月1日現在)。コメの生産量は国の需要予測に基づき、各都道府県とJAなどで作る「農業再生協議会」が各自治体に振り分ける。生産調整への疑問も出ている。唐津は生産者減で調整するまでもなく割り当てに収まっている。9月の消費者物価指数のコメ類は前年同月比 44.9%増。農家の経営安定と米離れ防止をどう両立するかが問われています。
- (4) 「まず食べたいものありきで旅先を決める」という贅沢な視点がいま、観光や食のシーンで暑い注目を集めている (T The New York Times Style Magazine : Japan)。大人のためのデスティネーションレストランです。唐津にも老舗のレストラン・料亭に加え、最近もかなりの高額な和食・フレンチや中華がオープンしている。食ベログなどを見ると県外からの口コミが多いのに気づく。佐賀県の「Jinya no Utage (陣屋の宴)」はこの流れの一環ではと思う。外資を稼ぐのに大いに有効だと思われる。

2. 経営支援から見える地域経済と課題

- (1) 令和6年度第2四半期(令和6年7~9月)は、巡回訪問388件・窓口対応491件の経営支援を行った。

3. LOBO 調査(早期景気観測)&中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和6年10月調査】

業況DIは、物価高による消費低迷が続き、再び悪化。先行きは、長引く経営課題が多く、力強さを欠く。

- ・全産業合計の業況DIは、▲17.2 (前月比▲3.1ポイント)

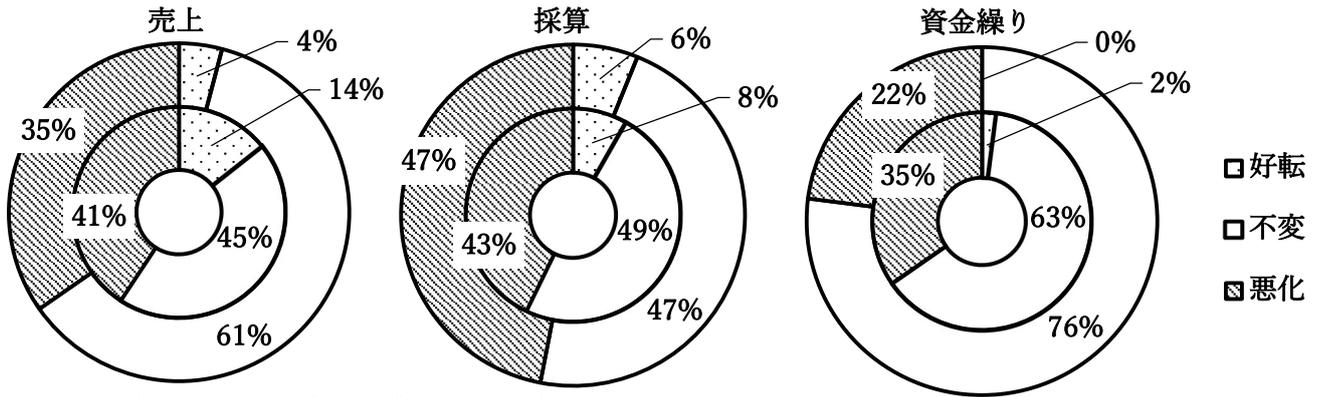
全国：小売業は、消費者の買い控えが重く、悪化した。サービス業は、秋の行楽シーズンで宿泊業は堅調な一方、生活関連サービス等が下押しし、悪化した。また、卸売業は、小売業・サービス業からの引き合い減少に加え、農畜産水産物関係では天候不順による価格高騰で収益悪化も見られ、悪化した。建設業は、資材価格の高騰や住宅関連の受注不振で、悪化した。製造業は、自動車関係がけん引し、改善したが、小幅に留まっている。原材料・電気代の高騰や最低賃金の引上げ等、コスト増が続いている。また、深刻な人手不足の中、人材確保に向けた賃上げ等を行っているものの、価格転嫁は十分に追いついておらず、中小企業の業況は再び悪化に転じた。

九州：業況DIは悪化。小売業では、消費者の買い控えの影響を受け、専門小売店を中心に売上・採算が悪化した。建設業では、民間の住宅工事の受注が減少している中、深刻な人手不足による工期延長や労務費の増加が生じ、採算が悪化した。建設事業者からは、民間の設備投資に関する受注が増加している一方、人手不足により対応が追い付かず、受注を断るケースが生じている、という声が聞かれた。

(2) 中小企業景況調査【令和6(2024)年7月～9月調査】

円グラフの外側：前年同期（2023年7～9月）と比べた今期（2024年7～9月）の状況

内側：前々年同期（2022年7～9月）と比べた前年同期（2023年7～9月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：原材料費・人件費以外の経費の増加、需要の停滞 小売業：需要の停滞 建設業：従業員の確保難
卸売業：店舗・倉庫の狭隘・老朽化 サービス業：利用者ニーズの変化への対応

4. 唐津の街のトピックス

- (1) 結婚式のWEB招待状がLINEで届いた。必要な事項（アレルギーの有無、お祝いメッセージなども）を書き込んで返信する。当日の参加者紹介、メッセージ欄等のパンフが自動的に完成するのであろう。デジタル化を実感する。残念ながら二人は宮古島に移住の予定。
- (2) 映画「土のひと風のひと」は江北町を舞台にした中山間地域の魅力と課題を描いたものです。主演女優は高橋笑み（本名石田絵美）さんは唐津出身・在住で、本当に演劇が好きな人です。
- (3) 東京恵比寿で「Bar Potsunto」を経営する澤田健太さんのFBからの情報。マレーシアの没入ドラマ『From Saga, With Love』がマレーシアでは2か月間1位を獲得したとのこと。今（10月7日）、Abemaで公開中。シーズン2も撮影中らしい。澤田さんは唐津PRのキーマンです。先日は県の広報課から3人が見えられていた。
- (4) 「暮らしの手帳 2024.8-9」に高島の野崎清美さんが詳しく取り上げられている。経営する定置網漁に島外からの移住者を迎えている。いっぽう、人口減によって生じた空き家を改修して宿&カフェをオープン。
- (5) 「シティ情報ふくおか」9月号に、KARAEが「唐津を感じる」として4頁に亘って特集されている。「歴史も、伝統も、アートも、エンタメも！唐津旅の拠点にしたいアートブティックホテル」と紹介されている。
- (6) 「ペペタマヤ」「わんぱく村」（京町）が55年の歴史に幕を下した。中心部の灯がまた一つ（いや、二つ）消える。なんとか手を打たないといけない。
- (7) ドジャースタジアムでおにぎり2種、野菜とおかか。1個7.99ドル。本誌Vol.13では「たこ焼き6個で13.99ドル」を紹介している。アメリカでも「〇〇.99ドル」で割安感を出そうとしているのはどこでも一緒だ。日本では98円、980円が多い。
- (8) パリオリンピック女子100M優勝はカリブ海に浮かぶ人口18万の島国・セントルシア出身のジュリアン・アルフレッドさん。実は佐賀県国際交流協会の黒岩理事長は県庁退職後シニア海外ボランティアとして同国に赴任。視聴障害者のための指圧の訓練学校の開設に尽力された。世の中は狭いと思う。
- (9) 金子産業（株）が本社を唐津に移転される予定。金子産業は2012年にニッスイグループに参画。金子産業の100%子会社である（株）ニッスイまぐろ（佐世保）は日本の養殖まぐろの20%を出荷しているという。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーターリー』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp